

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部みどりの課	直通電話	72-6122	事業コード	201040102	課内	2	作成日	平成15年9月1日
		担当者	池田 祐二	担当課長	松本 博	担当部長	吉田 保雄		

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	市民植樹祭事業	開始年度	H13	終了年度	未定						
		最近の事業内容見直し年度	H14								
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th>大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>2010401</td> <td>快適環境の創造 / 美しい景観づくりの推進</td> </tr> <tr> <td>1020601</td> <td>中心市街地の整備、都市景観の形成 / 魅力ある都市景観の形成 / 市民参加の景観づくり</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	2010401	快適環境の創造 / 美しい景観づくりの推進	1020601	中心市街地の整備、都市景観の形成 / 魅力ある都市景観の形成 / 市民参加の景観づくり
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目										
2010401	快適環境の創造 / 美しい景観づくりの推進										
1020601	中心市街地の整備、都市景観の形成 / 魅力ある都市景観の形成 / 市民参加の景観づくり										
3) 個別計画での位置付け	水とみどりの基本計画（緑地の保全及び緑化推進のための具体的展開）										

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市民と市が一体となって、樹木を植えることで緑あふれる公園づくりをする。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	公園等の緑を市民との協働で豊かにすることにより、緑との関わりを深めて、市民が緑を育て親しむきっかけとなるように。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<p>参加者の募集</p> <p>市広報を活用し、植樹祭実施の案内と参加市民を募集する。緑化団体等へ植樹祭周知と参加者募集を行う。</p> <p>場所</p> <p>サスイシリの森公園(花川北7条2丁目)</p> <p>市民参加により、公園内に植樹を行う。</p> <p>市が苗を用意して、その苗を市民の手で植樹してもらう。</p>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	前回植樹した苗木の生育状況がよくないので、苗木の種類も、丈夫なイタヤカエドを加え、苗木の大きさも去年より大きな苗木にした。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	都市における緑の保全、創出、活用を市民の参加、市民の協力を得て緑豊かな潤いのあるまちづくりの展開を進めている。 北海道植樹祭(北海道主催)
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	立案は、市で考え、実施を市民参加事業と位置づけている。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	0	248	693	288	苗木購入等(アカエゾマツ、ナナカマド、イタヤカエド)	693
2) その他の間接経費(千円)						
3) 従事正職員の人件費(千円)		2,653	2,224			
総事業費(1~3の合計;千円)		2,901	2,917		H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)		2,901	2,417		(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業	500
市民一人当たり一般財源使用額(円)		52	43			
事務に従事した正職員のべ人数		0.32人	0.27人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
植樹面積(平方メートル)	目標値	1,400	820	2,350	目標地は、植樹面積をブロックごとに想定している。
	実績値	1,400	820		
	達成率	100.0%	100.0%		
参加人数(人)	目標値	100	100	50	参加者は、市広報に募集のお知らせをして、当日公園に集合してもらう。 目標値は広報に掲載した募集人数です。
	実績値	91	41		
	達成率	91.0%	41.0%		
	目標値				
	実績値				
	達成率				

## 5 事業の成果

事業名：市民植樹祭事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
植樹本数(本)	目標値		400	110	57	植樹祭で植樹された本数。	納品伝票と現地において本数を数え確認した。
	実績値		400	110	目標レベル		
	達成率		100.0%	100.0%			
	最終目標	年度に					
生育本数(本)	目標値		400	110	57	平成15年9月1日現在での生育本数。	現地において、木の状況を見て確認した。
	実績値		181	97	目標レベル		
	達成率		45.3%	88.2%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	市民参加により樹木を植樹できたことは、緑が増え、環境上も大気の浄化に効果があり、さらに労働力を市民活動として行使できたことは、市民と森林に対する考え方を共有でき有意義であった。ただ、参加人数は平成14年は天気に恵まれず、平成13年より落ち込んでいるので、開催時期を早めるなど気候の安定している時期に行うよう工夫したい。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	公園内の植樹を、市民の手で行うことが、緑の啓発にもなるし、緑を大切に思う心を育て、きれいな街づくりに繋がります。公共施設内に樹木を植樹することは、個人レベルでは、行われておりません。市民に対して植樹する機会を数多く提供する必要性を感じる。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	植樹の機会を通じて市民の緑化意識の普及を図るため、この事業は妥当性があり、継続することが、望まれている。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	植樹祭を行うことにより、市民に植樹する機会を与え、直接樹木と触れ合う喜びを感じてもらい、このことにより、みどりに関心をもってもらう事業であり、みどりあふれるまちづくりを目的とした事業であることから、受益者負担の設定はなじまない。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
市民と共に植樹する活動を、継続していくことで市民が緑を育てるきっかけになるし、緑を保全することにつながる。			市民植樹祭は、植樹する作業を通して市民に緑の大切さを考えて頂く場を提供出来た。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	今後も継続して取り組む必要があるが、企画、運営等を市民団体等にて実施できるよう運動のあり方を工夫することも視野にいれて取り組む時期に来ていると思う。
最終評価	水とみどりの基本計画に基づく10万本植樹に向けて、市民植樹祭を活用し推進していきます。

## 9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向	*	
	統合 休・廃止		
上についての説明	16年度は、助成制度が受けられないため、市単独事業のみで行なうので規模が縮小になった。		